

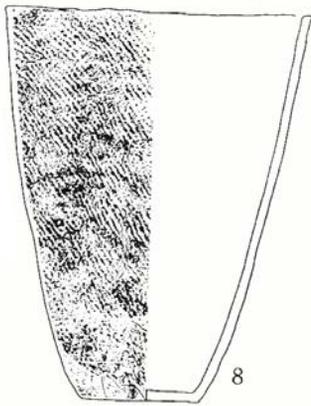
# 重要文化財大石平遺跡出土品保存修理事業（令和7年度）

大石平遺跡は六ヶ所村にあり、昭和58～60年に発掘調査が行われました。縄文時代後期前半の住居跡や土坑、配石遺構などとともに、多数の土器・石器、土製品・石製品が見つかり、祭祀や儀礼に係わる特殊なものが豊富に含まれていました。これらの遺物は、縄文後期の祭祀や儀礼を窺える良好な資料群であることから、平成7年に198点が重文に指定されています。

発掘後に復元されてから40年以上経過しており、当時の接着剤が劣化し接合部分が脆弱になっているものや復元の際に土器の破片が無い部分を石膏で埋め、土器に近い色で彩色していましたが、退色しているものもあります。これらを安全な状況で展示・保管するため、国庫補助事業を活用して令和2年度から専門業者による保存修理を行っています。令和7年度は、土器5点と土偶2点を修理しました。

修理は、表面の汚れや最初に組み立てた際の接着剤等を洗浄しながら解体します。解体した破片をアクリル樹脂で強化し、ゆがみを補正しながら組み立て直します。破片がない部分はエポキシ樹脂を充填し、充填部分は周囲の土器と区別出来るように色調を変えて彩色をします。

本事業は、文化庁国宝重要文化財等保存・活用事業国庫補助金の交付を受けて実施しています。



実測図



修理前



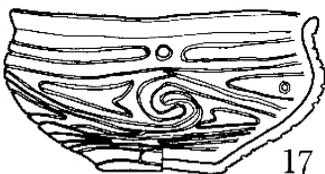
修理後

## ●深鉢形土器 3 高さ29.0cm 口径20×22.6cm（楕円形）底径8cm

74年試掘調査12トレンチ ピット6出土

この土器は、パーツがすべて残っています。過去の復元された形にゆがみがなかったため、解体せず、この状態のまま、クリーニングしパーツ接合部分の補強や彩色を行いました。口縁の亀裂も修理しています。

図掲載：青森県埋蔵文化財調査報告書第24集『むつ小川原開発地域関係埋蔵文化財試掘調査概報』56p, 31図-8



実測図



修理前



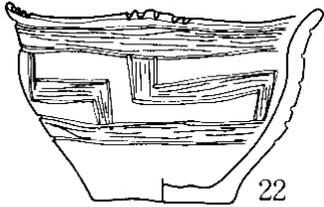
修理後

## ●鉢形土器 1 高さ7.6cm 口径13.5cm 胴径14.3cm（最大径）底径5.2cm

84年調査 遺構外、DC-378 グリッド

口縁と胴部のパーツを欠いていますが、全体の形状や文様がわかります。欠損部分を補った石膏が劣化し、さらに土器の外側と内側が全体的に荒れていました。表面全体をアクリル樹脂で強化し、欠損部分をエポキシ樹脂で補い、この上に文様を再現したことで、描かれた文様がよりはっきりとわかるようになりました。

図掲載：青森県埋蔵文化財調査報告書第97集『大石平遺跡Ⅱ』118p, 図76-17



実測図



修理前



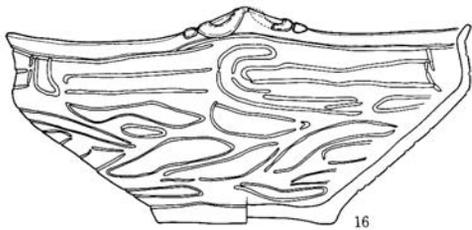
修理後

●鉢形土器 2 高さ9.9cm 口径15.5cm (最大径) 底径7.2cm

84年調査 遺構外、DB-375グリッド

口縁部の4分の1が欠損しています。口縁に3つの波状突起があり、胴部には沈線で幾何学文様が描かれています。欠けた部分を石膏で補っていますが、石膏を絵の具で着色した際の色むらが目立っていました。口縁は、残っている3つの突起と胴部文様の配置から位置を推測して波状突起を再現し、4波状口縁にしました。

図掲載：青森県埋蔵文化財調査報告書第97集『大石平遺跡Ⅱ』118p, 図76-22



実測図



修理前



修理後

●鉢形土器 4

高さ12.0cm 口径26.0cm (最大径)

底径10.2cm

85年調査 FJ-374グリッド

8号土坑の底面

口縁部を4分の1欠損していますが、全体の形状と文様がわかります。表面全体に沈線で楕円形や曲線が描かれています。欠損部を石膏で補い、その上を絵の具で着色しています。この色の劣化が目立つようになりました。この時期に同形状の土器の口縁には1波状が少なく、2波状が多いことから、欠損部分を波状突起で再現しました。

図掲載：青森県埋蔵文化財調査報告書第103集『大石平遺跡Ⅲ』第1分冊446p, 図264-16

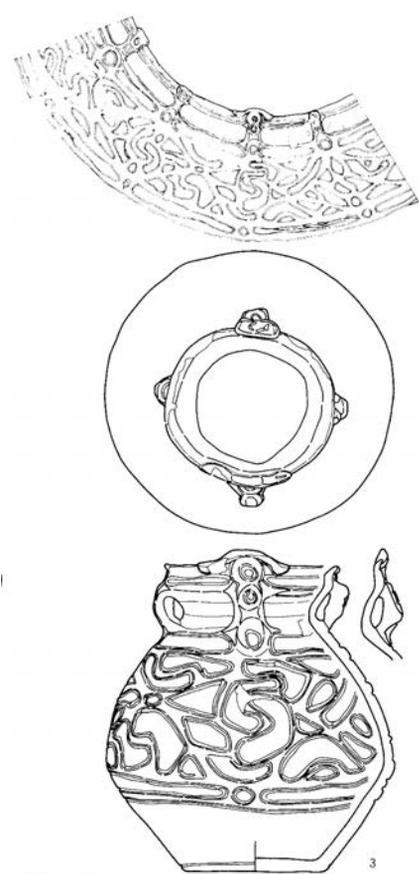


底面



修理前

修理後



大石図



修理前

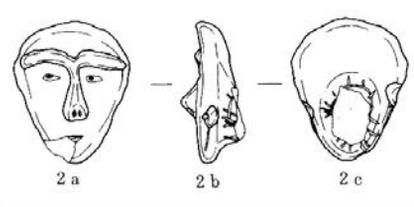


修理後

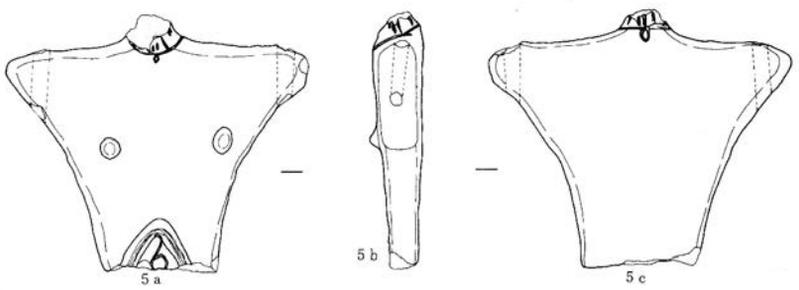
●壺形土器 2 高さ19.0cm 口径9.5×10cm 胴径16.5cm (最大径) 底径8.0cm /83年調査、遺構外DA-253グリッド出土

この土器は、口縁上端部の一部を欠いてるだけで、ほぼ完全な形の壺形土器です。土器片を接合した際に使用した接着剤が劣化し土器片と土器片の間に隙間が目立っていました。また口縁には細かい亀裂があり、欠けた部分の破断面も弱くなっていました。再度組み立てる際は、接合面の隙間や亀裂・破断面を強化しています。

図掲載：青森県埋蔵文化財調査報み告書第90集『大石平遺跡』28p, 21図-3



実測図 頭部



実測図 上半部



修理後  
左) 頭部・上半部  
表面  
中) 頭部裏面  
右) 上半部裏面

●土偶 2 (頭部) 長さ5.8cm 幅4.7cm 厚さ2.5cm ●土偶 3 (上半部) 長さ11.2cm 幅14.5cm 厚さ2.4cm  
83年調査 遺構外 (土偶2: DH-359グリッド、土偶3: CY-362グリッド)

土偶は、それぞれ40m離れた地点で出土しました。接合はしませんが、この2点は、土の性質・焼き方・割れ方や頸部から頭部の文様などから同じ個体の可能性があります。破損した断面・顔まわりの細かな割れ、上半部表面の亀裂を強化しています。

図掲載：青森県埋蔵文化財調査報告書第90集『大石平遺跡』449p, 325図 (土偶2: G-2、土偶3: G-5)